

越後タイムス

週刊
毎日曜日発行



二十九人のゴッホ 四十五人のゲーテ (上) 品川 力

2863

ゴッホの文献を戦災によつて失われた式場博士の依頼で、本邦ゴッホ文献を集めた。またま博士と落合つたので、中国ではゲーテを「歌」とかいてゐるから、多分ゴッホなどもあることであらうと話をし、是非ともそのれが知りたいとのことであつたから、文献調査に美術研究所に出かけた時に、中ねたがこゝでは分らず、中国研究所で初めてゴッホは「哥胡」とあると教へられた。この間、河瀬蘇北著「現代人物観 無遠慮に申上

候」(大正六年)を見つけた。新進作家谷崎潤一郎、未成品森田草平などもあれば、若輩下村海南もある。題目だけでも面白い。実業家である串田萬蔵もある。串田孫一君に見せたくなつて買った。高村光太郎のところを見ると、ゴッホやその他新しい美術を我國にもたらした云々と書いてゐるので、このゴッホはどうかと博士の著書を開くと、これは出ていなかった。またゴッホをモデルにした一篇がはいつてゐる。セの「丙面の道」で訳者三井光弥はファン・ゴッグと

これを記録してゐる。これは記録されてゐるものと思つてゐた。最近、西日本新聞に出てきた林房雄の「善三郎とゴッホ」といふ随筆で、「五歩」といふ文字を使つてゐるが、これはどうもびつたりとこない。ゴッホだ。串田君によると喫茶店に「吳峰」があるとのことだが、これも加へると二十九種の呼び名を数へることになる。ところが詩聖ゲーテとなるとゴッホなどの比ではな

い。ゲーテ文献探求二十年の僕が、いつかこれをノートになど考へながら、ついにそのまゝになつてゐたが、をひつくりかえしてみると昭和五年三月十八日「ヨロツバ語の音訳」と題して神代氏がかかれたことが、また

を二十九種上げて、東京朝日新聞に出かけた日新聞に書いたことを何かで知つた僕は年月はハッキリしなくとも分ることと思ひ、この春朝日の厚生部に清田次長を訪ね、調査部にだけ年代順に列べてあつた。その不明から見つけ出すことができず残念だつた。それでとに角、僕の知つてゐるゲーテを全部かきとめようとノートにとつてみると、どうしても二十一種よりしか浮かんでこない。こゝなるに神代氏の二十

人の名である。ゴエテ(菊池大麓)明治十二。山田美妙、矢崎巖の舎、三井甲之。ギユエテ(加藤弘之)明治十四。末松謙澄、平田東助、福地櫻痴。ギエーテ(加藤弘之)明治十五。尾崎庸夫。ギョート(中江兆民)明治十五。ギョーツ(同)明治十六

を二十九種上げて、東京朝日新聞に出かけた日新聞に書いたことを何かで知つた僕は年月はハッキリしなくとも分ることと思ひ、この春朝日の厚生部に清田次長を訪ね、調査部にだけ年代順に列べてあつた。その不明から見つけ出すことができず残念だつた。それでとに角、僕の知つてゐるゲーテを全部かきとめようとノートにとつてみると、どうしても二十一種よりしか浮かんでこない。こゝなるに神代氏の二十

人の名である。ゴエテ(菊池大麓)明治十二。山田美妙、矢崎巖の舎、三井甲之。ギユエテ(加藤弘之)明治十四。末松謙澄、平田東助、福地櫻痴。ギエーテ(加藤弘之)明治十五。尾崎庸夫。ギョート(中江兆民)明治十五。ギョーツ(同)明治十六

を二十九種上げて、東京朝日新聞に出かけた日新聞に書いたことを何かで知つた僕は年月はハッキリしなくとも分ることと思ひ、この春朝日の厚生部に清田次長を訪ね、調査部にだけ年代順に列べてあつた。その不明から見つけ出すことができず残念だつた。それでとに角、僕の知つてゐるゲーテを全部かきとめようとノートにとつてみると、どうしても二十一種よりしか浮かんでこない。こゝなるに神代氏の二十

人の名である。ゴエテ(菊池大麓)明治十二。山田美妙、矢崎巖の舎、三井甲之。ギユエテ(加藤弘之)明治十四。末松謙澄、平田東助、福地櫻痴。ギエーテ(加藤弘之)明治十五。尾崎庸夫。ギョート(中江兆民)明治十五。ギョーツ(同)明治十六

七。大西祝、徳富蘇峰、山口虎太郎、夏目漱石、内村鑑三、高山樗牛、高木伊作、大和田建樹、井上哲次郎、姉崎嘲風、桑木巖翼、上田萬年、島村抱月、藤代禎輔、新村出、網島梁川、繁野天來、幸田露伴、坪内逍遙、土井晩翠、湯原元一、齋藤野の人、秋元廣風、永井荷風、岩城準太郎、小原無絃、小栗風葉、志田義秀「百科大辞典」監釜天庵片山孤村、小野秀雄、西田幾太郎、厨川白村、森田草平、生田長江、阿部次郎、菊池寛、中山昌樹、東新、日夏歌之介、林久男(量的にはこれがもっとも多い)